

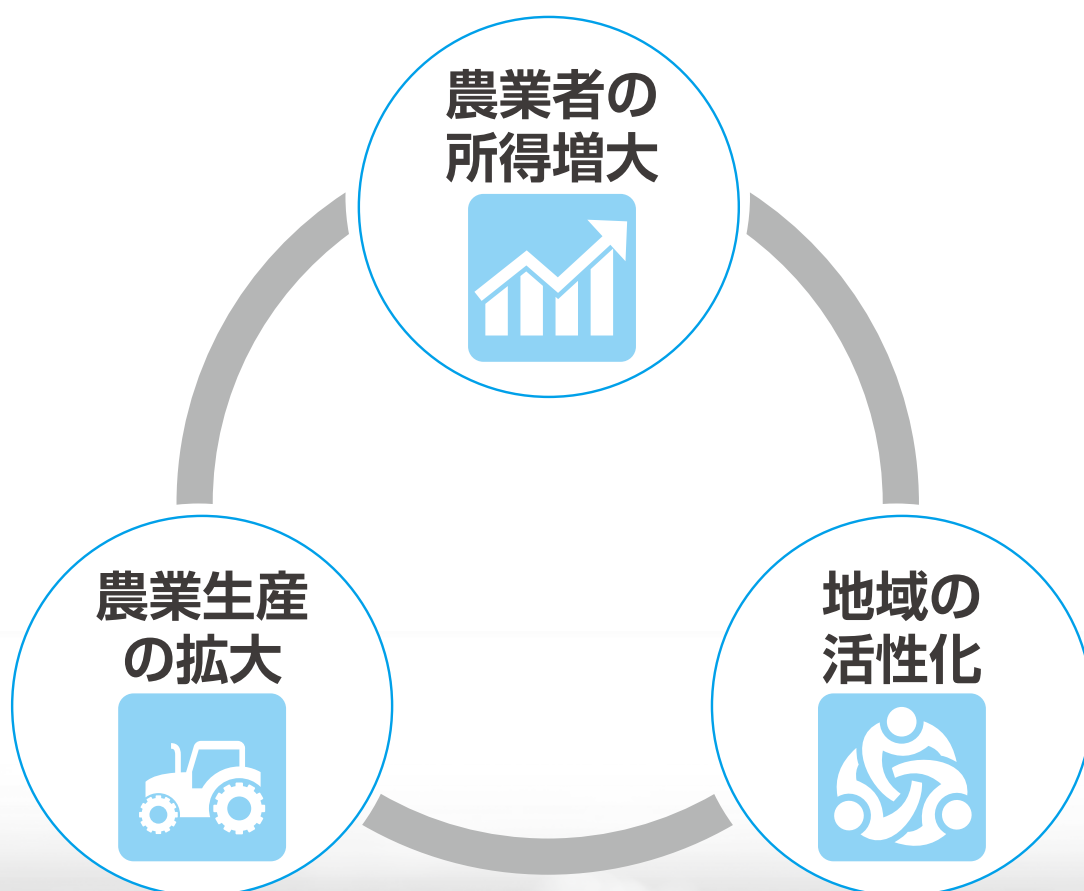
●JA丹波ささやま自己改革の取り組みに関する報告について

1.自己改革の考え方について

JA丹波ささやまは、豊かな暮らしと元気なふるさとづくりに貢献するため、篠山独特の気候・風土・歴史と伝統に培われた「農」を基軸に、安全・安心な「食」の提供、「地域」の暮らしに必要な事業を総合的に展開し、組合員・地域の皆さまから愛され頼りにされるJAであり続けるために、県内14JAや全国のJAの仲間とともに、「自己改革」の実践に取り組んでいます。

2.JA丹波ささやまにおける自己改革の取り組みについて

JA丹波ささやまでは、自己改革の取り組みを「次代の農業と暮らしを支えるJAをめざします」を経営方針とし、自己改革の柱である「**農業者の所得増大**」「**農業生産の拡大**」「**地域の活性化**」の基本目標達成に向け、なかでも重点的に取り組む施策を「JA丹波ささやま自己改革プログラム」として位置づけし、組合員や地域の方々のご意見を聴きながら着実に進めてまいります。





農業者の所得増大

重点施策 ▶▶ 有利販売の展開



- 取り組み状況
- 黒大豆枝豆の冷凍商品開発を行い、平成29年5月からJA直売所を中心に量販店等へ販売を開始し、販路拡大に向け取り組みを強化しています。

平成29年度実績

数 量 >>> 632kg

金 額 >> 1,488千円



平成30年度実績

数 量 >>>>>> 1,074kg

金 額 >>>>> 2,809千円

重点施策 ▶▶ 振興作物の検討



- 取り組み状況
- 水稻の業務用多収品種（とよめき・ほしじるし・やまだわら）の試験栽培や、作業効率向上のための密苗用田植機の実証試験を実施し、農家手取り向上への取り組みを進めています。
 - 丹波篠山黒豆の安定生産に向けて、土壌水分計を活用した土壌水分と生育との関わりの試験を進め安定生産に向けた検証を行っています。また、立枯性病害等の減少へ向けた対策の検討をすすめています。

平成29年度実績

水稻・業務用多収品種
栽培面積 >>>> 10.1 ha



平成30年度実績

水稻・業務用多収品種
栽培面積 >>>>>> 7.8 ha



重点施策 ▶▶ 農業所得アッププランの強化



■ **取り組み状況** ● 黒大豆の枝豆出荷の省力化を図るため、担い手農家への脱莢機導入助成を行うとともにサヤ豆の選別ラインを導入し、機械収穫されたサヤ豆の選別作業の省力化に取り組んでいます。

脱英機導入 >>>>>>>>> **4台**
(累計11台)

金額 >>>>>>>>> **2,981千円**
(累計10,918千円)

数量 >>>>>>>>>>>>>> **1.9t**



■ **取り組み状況** ●山の芋の機械化体系の確立を図るため、植え付け、掘り取り、出荷調製等の機械試験を実施し、ロールベアラーによる稲わら収集実演や大規模での作付けが実現できる取り組みをすすめています。

山の芋の機械掘り
実証圃場 **1 圃場**

山の芋の機械掘り
面 積 **20a**

山の芋反収 **620.6 kg**



重点施策



■ 取り組み状況

米	108,318	袋
黒大豆	75.2	t
山の芋	125.3	t
黒枝豆	65.1	t
栗	18.2	t
大納言小豆	4.6	t
うすいえんどう(面積)	1.3	ha
ピーマン(面積)	0.6	ha

重点施策



■ 取り組み状況

新規参加者 >>>>> **1** 件
U・Iクラブ受講生 >>>>> **5** 名
山の芋スクール受講生 >>>>> **20** 名



地域の活性化



重点施策 >> 情報発信拠点の役割発揮



- 取り組み状況
- ・ 味土里館では、食の安全・安心点検を行うとともに、デカンショ太ねぎなどの栽培講習会等により消費者に信頼され喜ばれる農畜産物の提供および年間を通じた品揃えの充実に取り組んでいます。
- ・ 特産館ささやまでは、地元食材を使用した新メニューの開発に取り組み、組合員・利用者に積極的にご利用いただけるサービスの提供に取り組んでいます。

平成29年度実績

味土里館アイテム点数 >> 317点

特産館開発メニュー点数 >> 10点

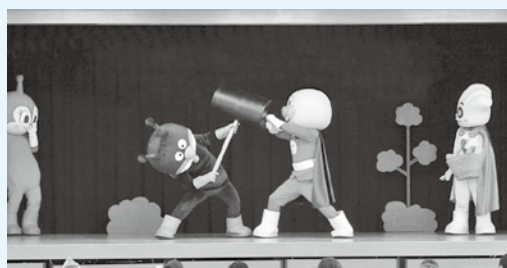


平成30年度実績

味土里館アイテム点数 >>>> 352点

特産館開発メニュー点数 >>>> 14点

重点施策 >> 次世代、若者とJAの結びつき強化



©やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV



- 取り組み状況
- ・ 農業メインバンク機能強化に向けて、信用部門と営農経済部門が連携し、出向く体制を強化し、農業融資相談等の訪問活動の強化に取り組んでいます。
- ・ JA共済の「こどもくらぶ」活動やJAバンクの環境チャレンジの取り組みの応援等を通して、次世代層との接点強化、取引基盤の拡大に取り組んでいます。

平成29年度実績

農業融資額 >> 29,370千円

こどもくらぶ
会員数 >> 323名



平成30年度実績

農業融資額 >> 11件 45,265千円

こどもくらぶ会員数 >>>> 447名



地域の活性化



重点施策

女性農業者の支援強化



- 取り組み状況 ● 篠山市、グリーンファームささやまと連携し、女性農業者を対象にトラクターや草刈り機のエンジンのかけ方から運転操作などの「いきいき農村女性オペレータースクール」を開催し、女性農業者への支援強化に取り組んでいます。

平成29年度実績

参加人数 >>>>>> 29名



平成30年度実績

参加人数 >>>>>> 32名

(注) 平成31年3月31日現在のため「篠山市」と表記しています。

重点施策

ふれあい活動の実践



- 取り組み状況 ● 小学校や保育園への出前教室に、JA青年部の協力のもと山の芋グリーンカーテンの植え付け指導に取り組み、保育園では、野菜の植え付け指導等にも取り組んでいます。
- 小学生を対象とした地元特産物を使った料理教室(年度により内容は異なります)を行う「親子ちゃぐりんフェスタ」を開催し、親子で食と農の大切さと、地元農畜産物についての食農教育に取り組んでいます。